平成 28 年度総務省行政事業レビュー公開プロセス評価結果
「無線システム普及支援事業（民放ラジオ難聴解消支援事業）」

1. 評価結果「事業全体の抜本的な改善」

内訳：廃止	0名
事業全体の抜本的な改善	4名
事業内容の一部改善	2名
現状通り	0名

2. 取りまとめコメント

当該選択の理由・根拠及び事業の見直しの方向性など

- ・ 民放事業者へ多額の国費を投入することに合理性を与えるためには、事業目的が災害対策であることを明確にすべきで、この目的にふさわしい成果指標を設定すべきである。事業の費用対効果の分析、評価が必要である。また、ワイドFMの利用を広げる努力も必要である。